

鳥 取 会 報

第 27 号

2013年 1月



目 次

	表紙	職場体験実施状況	13
新年の挨拶（連合会会長）	2	シルバー人材センターの紹介（智頭町）	14
新年の挨拶（鳥取労働局長）	3	会員のひろば（境港市、三朝町）	15～16
理事長の抱負	4～9	趣味のひとつ（湯梨浜町）	17
平成24年度事業実施状況	10	講習会に参加して（調理アシスタント）	18
平成24年度SP事業講習実施状況	11	鳥取県の最低賃金	19
平成24年度SP合同面接会実施状況	12	会員名簿・連合会スタッフ等	裏表紙

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

新年のごあいさつ



(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

会 長 宇 野 治 巳

賀 正

新年あけましておめでとうございます。

関係者の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

シルバー事業は、皆様のご支援とご協力により順調な事業活動が図られており、心からお礼申し上げます。

先般、国の高齢社会対策大綱の改定では、我が国は、世界に前例のない速さで高齢化が進み、世界最高水準の高齢率となり、世界のどの国もこれまで経験したことのない超高齢社会を迎え、人生65年時代の前提を人生90年時代に転換させ

る必要があるとしており、そして、人間らしく生活できる尊厳のある超高齢社会を実現させていく必要があると述べられ、特に高齢者の知識や経験を活かし、安全・安心な生活環境の実現をはかり、これらに基づいて全員参加型社会の推進を強く提案しています。

今や、団塊世代が65歳に到達し始め、人口構造は急激な高齢化と人口減少が同時進行しているなか、人生の高齢期を有意義に過ごすという、シルバー人材センター事業の基本理念は、地域における単発・短期の仕事のニーズに応えるため、高齢者が自らの就業等を通じて、学習と生きがいを見い出す働き方で、理念そのものの活動であります。いわゆる収入確保の場ではなく、生きがい事業として位置づけられ地域に貢献し、今日に至っています。



シルバー人材センター連合会が市町村のシルバー人材センターとともに実施しているシルバー事業に対しまして、引き続きのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
皆様のますますのご健勝を祈念し新年のごあいさついたします。



新年のごあいさつ



鳥取労働局長

矢澤 由宗

慶春

協会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

新春を寿ぐとともに、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

さて、鳥取県内の雇用失業情勢ですが、平成24年11月の有効求人倍率は0・71倍と、中国5県で一番低い状況であるとともに、全国平均を下回った状態が平成23年10月から14ヶ月連続で続いているところです。また、鳥取県が12月3日に発表しました「鳥取県の経済動向」では、厳しい内外の景気を背景に、生産・消費が依然

低調であり、基調としては弱い動きが続いていると公表されたところです。

また、一昨年から続く東部地区の大手企業の事業再編により、年末に大量の離職者が発生したところで、年度末にかけても、東部地区の他グループの事業再編が予定されているなど、一層厳しい雇用失業情勢となることを懸念しているところです。

このように、厳しい雇用失業情勢の中、我が国は世界に類を見ない速さで高齢化社会が進展しております。このように高齢化が進む中で社会の活力を維持するためには、経済が安定して発展するとともに、意欲と能力のある高齢者が可能な限り社会の支え手として活躍できるよう、年齢に関係なく働ける「生涯現役社会」を実現する必要があります。鳥取労働局としては、年齢を問わない求人の募集指導、希望者全員の65

歳までの継続雇用の確保、更には70歳まで働ける企業の積極的普及、シニア・ワークプログラムの地域事業の推進による高齢者が地域で働ける場や社会を支える活動ができる場の拡大に取り組んでいます。

シルバー人材センターにおかれましては、既存の労働法の適用を受けない「生きがい就業」との位置付けによる独特の就業方式により、高齢者の多様なニーズに応じた就業機会を提供し、社会参加の促進による地域社会の活性化を図るという重要な役割を担っておられ、その役割は、高齢化が進むことにより、益々重要性を増すものと考えています。

最後に、シルバー人材センターのご発展と会員の皆様の益々のご健康とご活躍をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



シルバー人材センター

理事長の抱負

公益社団法人 鳥取市シルバー
人材センター



理事長 西根 弘康

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに
お迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、周辺諸国との領有権問題が再燃し、国交
問題だけにとどまらず、民間交流の発展や経済界に
もその影響は及んできています。

国内においては、一昨年三月に発生した東日本大
震災の復興も思った以上に進まず、苦勞をしている
方々が多くいらっしゃることに心の痛む一年でした。
早い復興を願ってやみません。

また、センターの身近な話題では、高温の続いた
夏から秋にかけて、就業中の会員の熱中症等健康管
理に心配をいたしました。会員の日頃の自己管理
が功を奏して幸いにも大きな事故も無く乗り切るこ
とができました。

しかしながら、昨年九月に剪定作業中での重篤事
故が発生し、とても悔やまれてなりません。ご本人
やご家族はもとより、関係者の皆さんには多大なご

負担とご迷惑をお掛け致しました。
今年こそ、明るい年となるこ
とを期待し、会員とともに安全管
理の原点に立ち返り、無事故を目
指して頑張っていく所存です。
シルバー人材センター関係団体
の皆様や日頃お世話になっている
関係各位が、健康で幸せな一年と
なることをご祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせて
いただきます。

社団法人 米子広域シルバー
人材センター



副理事長 後藤 巖

新年あけましておめでとうございます。

シルバー連合会会員・役員、事業関係者の皆様に
おかれては、お健やかに新年をお迎えのことと存じ
ます。地域の皆様のご支持と米子市・日吉津村など
関係機関のご支援・ご協力により、不断の事業運営
が図られておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、運営基盤の平成二十四年度補助事業は当初、
二十三年度並みの補助金で開始し、途中「企画提案
方式事業」を申請・採択され、新たな補助金を得た
ところです。しかしながら、限られた公共・民間事
業の需要及び会員数減少傾向でシルバー事業の運営
は極めて厳しい状況が続いておりますので、昨年の
通常、臨時総会において公益社団法人への移行に係
る諸決議をおこない移行手続き中ではありますが、事

務体制の軽量化、支出の抑制など合理化に努めなが
ら事業展開をおこなっております。

したがって、シルバー事業に寄せられる期待と役
割がより重要性を増す現在、その「自主・自立・共
働・共助」の基本理念と主体的な「会員」の就業、
社会参加による「生きがい就業」事業として、会費
・事務費等も含め是非、会員各位や地域の皆様の引
き続きのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

また一昨年来、地域の高齢者等が必要とされる一
寸した生活援助サービス、ワンコイン・サービス事
業、『ちよこし おたすけ事業』も関係会員各位
の取り組みにより拡がりをみせております。

地域の皆様にとって魅力のある、地域高齢者が
「担い手」の一つとして、シルバー事業が明るく活
力に満ちた地域社会づくりの一助となるよう取り組
んでまいりたいと思います。

事業関係者の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上
げ、新年のご挨拶といたします。

公益社団法人 倉吉市シルバー
人材センター



理事長 中林 正樹

新年明けましておめでとうございます。

皆さまには、二〇一三年の新春をお健やかにお迎
えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、我が国の厳しい経済情勢や国・地方公共団
体の行財政改革とともに、事業仕分けによる大幅な

補助金削減により、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、大変厳しい状況下にあります。

加えて、昨年度、労働者派遣事業として行っていた、駐車場における「交通誘導案内業務」や施設管理における「宿日直の巡回警備業務」は、警備業法に抵触するとして、今年度から取り止めたことにより、今年度末の事業実績は、前年度末と比較し約一千万円の減少となると予想しているところです。

このような厳しい状況を少しでも打破するためには、生計の維持を目的とした本格就業ではなく、定年退職者等の高齢者の特性と就業の希望に応じた日常生活に密着した軽作業的な仕事、即ち、一般社会での労働ではなく、「生きがい就業」を基本業務とした、シルバー事業本来の特性を活かした就業機会の開拓や新規会員の加入拡大を進めていかなければならないと考えているところです。

本年も、連合会員皆さまのご健康と更なるご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



理事長 西村 岩市

社団法人 境港市シルバー

人材センター

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

新しい経営体制の下でも、その厳しさは現状の経済環境において、シルバー人材センターの運営及び収支は、今まで以上に厳しいことが確実視されます。

センターのよりの確な運営を行うための会員並びに役職員が新たな意識を改革し、知識や経験を活かして就業することで自身が充実感を得るとともに、希薄になりがちな地域との結びつきを強くし、活力ある地域社会を創っていく役割を考えるべき大切な年ではないでしょうか。

シルバー事業の「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもとに会員の就業により、高齢期の人生を地域社会に関わる主体的な就業によって、やりがいを実感する「生きがい就業」に徹しようではありませんか。近隣地域の諸団体との交流を深め活動を検討とし、地域高齢者はもとより多くの年齢層との交流をもとに、センターへの地域の理解を深め、地域社会の多様な仕事の需要を再把握し、就業機会の拡大・充実を図るべき最重要な年と思います。

高齢者とはいえ、仕事を完実するための能力再開発・技術の研鑽はより重要であり地域からの仕事発注に対しての完全な対応こそが、私たちの使命です。

新しい年明けとともに、地域関係機関にシルバー人材センターの置かれている現状・立場を再認識いただき、実りある一年となることを念願し、会員各位のご理解・ご協力のもと、鋭意努力することを誓い、新春のご挨拶といたします。



理事長 谷口 幹彦

公益社団法人 岩美町シルバー

人材センター

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

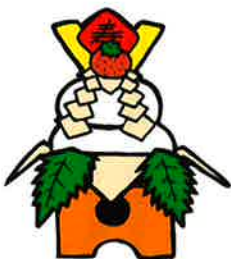
会員の皆様、関係者の皆様には、日頃よりシルバー事業に深いご理解と、多大なご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、当シルバー人材センターは、平成二十四年度より公益社団法人へ移行し、より公益性の高い団体として地域社会に貢献していくよう努力を続けて参りました。しかしながら、社会情勢は、景気の先行きの不透明、雇用不安、超高齢化社会への進行等、周辺環境は一向に改善のきざしは見えませんが、

先年、国において「日本再生の基本戦略」が示され、「高齢者が学びやすく働きやすい環境の整備、多様な働き方を選択できる環境整備を図る」ことが掲げられました。シルバー人材センター事業は、この戦略を具現するための不可欠な存在として、役割は益々重要となつてきています。

しかしながら、シルバー人材センター事業の現状は、景気の低迷の影響を受けて、受注の減少、会員の減少、補助金削減等、危機的な状況にあることに変わりはありません。したがって、地域ニーズの掘り起しによる新規事業の検討、会員及び役職員の自己責任、義務の明確化による適正な法人経営などの課題解決は急務となっています。

関係各位および地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら、信頼と期待に応えられるシルバー組織として、全員、役職員一体となつて事業の推進に努めていく所存です。尚一層のご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。



社団法人 智頭町シルバー
人材センター

理事長 小林 實夫



「理事長の抱負」リセット」

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましてはお健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、当センターもいよいよ四月より「公益社団法人」の仲間入りです。これまでの「社団法人」を良い意味でリセットして新たな気持ちで事業展開を図り、地域に一つしかない公益社団法人として町内各位の負託に応えられるのは勿論、一層の事業拡大に努める所存です。「流星光底長蛇を逸す」の諺がありますが、公益法人化の機会を大切にしたいと思っています。

更に、昨年十二月に行われた衆議院総選挙は大方の予想どおり、三年余り続いた民主党政権をリセットし自民党を中心とした政権に替わりました。これからの日本の舵取りをどの様に執るのか、この政権に我が国の命運が懸つています。さしずめ平成二十五年予算がシルバーセンターにどの様に関わってくるのか注目されます。ただ、三年前に時計の針を戻しただけでは大多数の国民は納得しません。自民党自体もリセットし生まれ変わった姿で国民の納得する政治を行って欲しいと願います。

ともあれ我々の置かれた状況を、政治や世の中の所為にするのではなく、我々自身もリセットし新たな気持ちでセンター運営を執り行う所存です。

言うまでもなくこれからの地域の「元氣」さは、我々シルバー世代が中心とならざるを得ず、この知識・経験をいかに若い世代に引き継ぐかが非常に重要になっていきます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって輝かしい年となる様祈念いたします。

(一・社) 八頭町シルバー
人材センター

理事長 衣笠 春壽



謹んで、新春のお慶びを申し上げます。とともに本年も県内各シルバー人材センターの会員及び県シルバー連合会各位のますますのご健勝を祈念いたします。

今ほど政治・経済の様相が混沌としている深刻な状況は、いかにシルバー会員の経験深しと云えども明日の見えない相当な心配事として推移しているところとです。迎える高齢化社会への急速な傾斜に伴う我が国の課題は時には未曾有の大地震・大津波、原発事故で被災された東北地方の人々の苦しみ象徴されて表現されますが、全国どの地域においても極めてきびしい現実を見ているところです。

高齢化社会の中でシルバー人材センターの果たす役割の大きさを思いながら、町行政の一層の支援を受け、働くことできるとか地域社会への貢献を意識し、自分自身の生きがいを感じて喜びを思う。八頭町シルバー人材センターにおいては会員減少という最大の課題を抱えての日々の活動ではありますが、

幸いにも地域社会からの信頼・期待を高めつつも、

今こそ正念場を迎えている緊張感を思うところであります。ぜひ今まで培われてきたシルバーの地域とのなじみや連携の強さ、明るいシルバーの生き生きとした現場が高齢化という波に圧倒されることなく、新年もまたシルバーらしさの会員相互の穏やかさを忘れず、がんばってまいりたいと思うところです。

社団法人 湯梨浜町シルバー
人材センター

理事長 足立 春人



平成二十五年の新春を皆様と共に迎え、本年が良い年になりますよう祈願いたします。

本町では、会員の冬季から春季までの就業機会を確保するため、毎年希望する会員を募集し、グループ活動による独自事業として、お正月用ミニ門松の製作販売、手作りのシルバー豆腐の製造販売、学校給食等に提供されるタケノコの出荷販売に取り組み、町民の皆様から好評をいただいております。また、門松グループでは、十二月になると湯梨浜町役場の玄関前に大型の門松を現場で製作し寄贈していることから、町長及び関係者から喜ばれております。

昨年は、初めての取り組みとして、九月及び十月にセンターを利用されたお客様を対象に、発注者満足度アンケート調査を実施し、発送数九十七件中、回答数は五十九件で六〇・八%の回収率でした。集計の結果、仕事の出来栄、就業会員のマナー、事務局職員の対応など、お客様の満足度は、普通と回

答された方も含めると、各設問ともほぼ一〇〇％に近い数値となっているほか、たくさんご意見ご要望もいただき、今後の就業への対応方法にたいへん参考となりました。

いよいよ本町も新年度から公益社団法人へ移行する運びとなっており、多様化する地域社会のニーズに適切に対応するため、組織体制の見直しを行い、新たに総務・会員運営・普及啓発部会を設置するほか、事務局体制を強化して事業の一層の発展を図るなど、これまで以上に事業の公益性を高めたいと考えております。

今後もシルバー事業を取り巻く環境は厳しい状況が続くものと思われませんが、会員みなさんと共にシルバー人材センターの役割を十分に発揮し、町民の皆様センターの存在意義を理解していただくため、そして町民の皆様期待されるセンターを目指して努力したいと考えております。



社団法人 北栄町シルバー
人材センター

理事長 日置 勝彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年末の総選挙により新政権が発足致しましたが、シルバー人材センター事業もより一層、地域社会や利用者から信頼され、愛される組織へと拡充が求められています。

そのためには、役職員が先頭に立ち全会員とともに就業開拓や会員拡大など、自らの運営努力により

センターの自主・自立への気構えが必要です。

北栄町シルバー人材センターも4月から公益社団法人としてスタートすることとなりますが、会員の安全で適正な就業を基本として、高齢化が進む地域社会に溶け込み、住民の生活の中から求められるシルバーへの依頼に、誠意をもって応えていき信頼と絆を深めていきたいと思っています。

しかし、長期の不況と少子高齢化は、定年延長・年金支給開始年齢の後退・失業・所得の減収等をもたらし、会員拡大の壁にもなっています。同時に、家計を補うための収入を期待しての加入も増えてきていますが、大歓迎です。臨時的かつ短期的で軽易な業務で配分収入が少額で期待に反するかもしれないが、生きがいの充実と福祉の増進を図り活力ある地域社会づくりへの寄与を周知して、会員加入を呼び掛けていくこととします。

また、公益事業として自覚をもって、一層の就業機会の増加を図るため、農業関係作業の掘り起し、竹林対策、空き家対策、派遣事業への取り組み等も課題としています。



社団法人 琴浦町シルバー
人材センター

理事長 田中 明

新年あけましておめでとうございます。輝かしい平成25年の新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

日ごろ、シルバー事業の運営に、ご理解とご協力

を賜り厚くお礼申し上げます。

シルバー人材センターを取り巻く環境、経済情勢はますます厳しい状況となっております。地域社会は少子高齢化が一段と進み、地域活力を維持するシルバーの重要性は高まっています。そんな中、いよいよ「公益社団法人」へのスタートの年となります。

シルバーの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を徹底し、公益法人理事長としての責任、自覚を肝に銘じて、地域の人々に必要とされる組織作りと会員増加に努めたいと考えています。

会員は今後ますます高齢化となりますが、安全・安心を基本に、作業に取り組みます。地域の方々、企業の方々に喜んでいただける事業を展開するため、役職員、会員が一丸となって協力して頑張る所存です。高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会に貢献することに努めます。

終わりに、関係各位のさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願いするとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



公益社団法人 大山町シルバー
人材センター

理事長 近藤 昭夫

新年明けましておめでとうございます。

鳥取県シルバー人材センター連合会会員及び各センターの会員の皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。地域の会

員の皆様のご支持のもと大山町の関係機関の温かいご支援と町民の皆様のご協力により事業運営が図られていますことを厚く御礼申し上げます。

いまなお復旧のめども立っていない一昨年の大震災による原発事故が世界中を不安に落し入れ、併せ経済不況の中、シルバー人材センターの将来にも暗い影を落としているような感じがしてなりません。

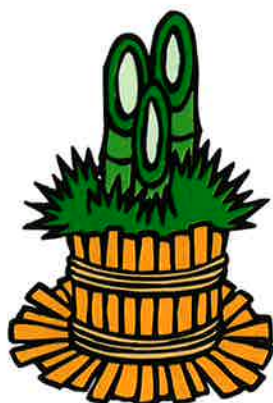
一方、3年前の事業仕分け以降、安全適正就業の有り方についていろいろ指摘を受けている今日この頃です。特に適正就業については厳しく指摘され、場合によってはシルバーいじめではなからうかと思うことさえあります。

少子高齢化が加速的に進行する中、2030年に65歳以上が3分の1になるとの予想がでております。また、定年が70歳になるのも目の前です。そのためにはシルバーの会員入会が激減の可能性が危惧されております。

しかし、高齢者が働くことによって、健康を保持し、かつ地域に密着した社会参加を通じ、仲間作りや地域の活性化を目的とした行動は公益法人としての一つの責務と考えております。

そして、本年は適正就業の観点から、労働者派遣事業の導入を目指します。

最後になりましたが、関係各位のご支援、ご協力をお願いし、皆様の更なるご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



社団法人 南部広域シルバー人材センター



理事長 安達 幸男

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、あの東日本大震災で人と人との絆や地域の支え合いの大切さを再認識し、生きる力となった「絆」が漢字一字と決まり意識して来た一年でした。本年も昨年同様地域との絆コミュニケーションを重視し地域に密着し就業機会の確保、提供に努めます。本年も、厳しい経財情勢が続くと予想されます、補助金の動向が気になりますがいずれにしても厳しい事業運営が強いられることになると思います。

制度改革により平成二十五年度より社団法人から公益社団法人へ移行します。それに伴い税制上の優遇措置や社会的認知度や信頼の向上につながります。反面、公益事業比率や法人の基準を満たす義務が生じてきます。

本年も、安全・適正就業に徹し業務を点検し就業の拡大拡充に努めます。

今、会員が減少の傾向にあり加入促進に努めていますが増につながらない、加入しない理由として地域との関わりを好まないといった個人意識の多様化や定年の延長が原因ともいわれています。どうしても克服しなければシルバー人材センターの安定はありません。

本年は、人口の四人に一人が六十五歳以上の高齢者になると推定され高齢化が進加する中でシルバー

人材センターの果たす役割はますます重要となつてきます。役職員会員が一体感を持つて業務の効率を図り地域の活性化、貢献に努めなければなりません。終わりに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げます、ご挨拶いたします。



江府町シルバー人材センター
理事長 山本 信男

新年明けましておめでとうございます。

シルバー連合会・会員をはじめ、事業関係者の皆様には、新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、近年は、東日本大震災をはじめとした自然災害が多く発生し、その上に政治・経済等々が混乱し不安と不信をまねき、日本中いや、世界中が、先が見えない状況となっております。

このような時、江府町シルバー人材センター理事長を拝命し、暗中模索の半年余りを何とか無事にすごしてまいりましたことは、会員の皆様の努力のお陰と感謝いたしております。

当シルバーは、県下でも小さいシルバー人材センターと自覚しておりますが、小さいがゆえに出来ることもあると考え「自主・自立・共働・共助」を基本理念として、「小さくてもキラリと輝くシルバー人材センター」・「会員同士お互いの顔が見えるシルバー人材センター」・「地域の皆様から重宝がられるシルバー人材センター」を三本の礎として今年も活

動してまいります。

魅力あるシルバー人材センターとすることは、極めて厳しい社会状況でありますが、今年が、明るく魅力あるシルバー人材センター元年となることを信じ、健康に留意しながら、小さなことを積み重ねてまいります。

このことが、地域住民の皆様・会員の皆様にとって魅力あるシルバー人材センターにつながることを確信しております。

安全・安心・明るく活力ある地域・魅力あるシルバー人材センターとするため、より一層、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、東日本大震災・原発事故からの一日も早い復興・復旧を祈念しております。



日南町シルバー
人材センター

理事長 矢吹 隼之

あけましておめでとうございます。

東の空から昇る朝日を拝しながら、今年一年の安全と幸運を祈りながら拍手を音高く打ちます。

一昨年、昨年と日本中を揺さぶり恐怖のさなかにおとしめられるような災害に二度三度と見舞われました。けれどもそれに負けることなく力強く立ち上がろうとされる被災者の皆さんに心からの敬意を表したいと思います。

さて、私たちの周りですが、昨年も会員の減少、仕事の受注先の減少と、明るい材料が見つからず反

省することも目標とすることも全く同じで変化のないことですが、このままで思案ばかりしていても埒が明きません。まず動くことです。

①会員を増やすこと、②仕事を探すこと、これがメインで次に③作業（会員）の安全確保、正しい作業手順、保護具の着用を徹底して「明るい作業で明るい家庭」をモットーとしたいと思います。

私たちの年代になれば、仕事に対する観念がいくらか熟練していても、「ウツカリ心」が、ついつい現れて取り返しのつかない事故に繋がることが起こりがちです。自分だけでなく、同僚の危険な作業態度が目についたら遠慮なく注意しあい、お互いの安全を守っていく様にしたいと思っています。

年頭に顔を合わせた友達が、年末に集まった時にも変わらず元気で顔を合わせられる職場にしたいものです。どうか町内そして県内の仲間の皆さん、新しい年を迎えて元気な姿で職場に立たれるよう頑張ろうではありませんか。



三朝町シルバー
人材センター

理事長 馬野 忠嗣

新年明けましておめでとうございます。

「新しい年こそ」という願いを強く心豊かに持ちながら、今年も新年を迎えました。激動の国内外諸情勢の中での年末総選挙、各党のすばらしい公約、新しい政権政府に多少の期待と夢を持つ一時となりましたが、私たち国民の期待、信頼、安心の政治が

実現されるよう願うばかりでもあります。

とりわけ高齢者にとつて一連の社会保障制度問題等、有り余る課題があります。私達もしっかり発信し、政治への関心を高めたいと思う一人であります。

さて、当センターは昨年、設立十周年記念の年を迎え新しい一歩の年となりました。「共働、共助として信用、信頼」のシルバー人材センターの原点にいつの日も旧帰り組織の拡大をはかりたいと思います。一つには、①「業務開拓と会員の能力範囲を再考し多様化した社会、住民のニーズに 대응すること」、②「行政、諸団体との対話・連携を一新」、③「高齢化対策」、④「ゆとりある会の運営（ボランティア活動、会員相互の交流、地域他団体との交流）」などであります。

シルバー人材センター会員一同が無事故で楽しく元気な躍動のある年であるよう、また会員各位、ご家族ご一同様のご健勝とご繁栄を心より祈念し新年のご挨拶といたします。



平成二十四年度事業実施状況

○シルバー人材センター事業

普及啓発促進月間

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会では「10月20日」を「シルバーの日」として米子市の繁華街において啓発用ポスター、リーフレット等啓発用品の配布を行った。各センターに於いても市町村のイベント事業への参加、リーフレット・チラシ等の配布、公共施設等での清掃・奉仕活動を行うなど、多様なPR活動を実施しました。



○中国ブロック交流研修会の開催

役職員交流研修会

平成二十四年十二月六く七日米子コンベンションセンターにおいて開催し、中国管内の連合会、シルバー人材センターから百九十五名の参加者がありました。

この交流研修会では、初日に公益社団法人全国シルバー人材センター事務局長末竹正男氏の「シルバー人材センター事業の状況と今後のあり方」とする

基調講演、また、二日目には公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会長山井隆義氏から「地域に親しまれるシルバー人材センターを目指して」との講演もありました。

この交流研修会では、①シルバー人材センターの役員の役割と活動、②安全・適正就業の推進について意見交換を行いました。

当初の終了時間を大幅に超える活発な意見が交わされました。



実務担当者交流研修会

平成二十四年十月四く五日米子コンベンションセンターにおいて百十八名の参加のもと実務担当者交流研修会を開催しました。

初日は、社団法人米子広域シルバー人材センター綾木義和氏の講演「健康長寿」、また公益社団法人防府市シルバー人材センター事務局長田中三輪子氏が「公益社団法人移行後の事業運営、事務局運営について」、事例発表は「適正就業の推進」と題して公益社団法人大竹市シルバー人材センター常務理事・事務局長松本光弘氏、社団法人島根県シルバー人材センター連合会事務局次長石飛俊明氏から発表していただきました。

二日目は、事例発表のテーマを議題として六分科会に分かれ意見交換を行いました。



○経験交流大会の開催

十一月二十二日倉吉体育文化会館において経験交流大会を開催いたしました。

大会には社団法人出雲市シルバー人材センター常務理事・事務局長の原文男氏より「補助金削減に伴う健全財政の確立について」とする講演をいただきました。体験発表では公益社団法人鳥取市シルバー人材センター理事長西根弘康氏から「全国新任理事長研修に参加して」、当連合会からは、安全パトロール指導員柳楽孝鑑氏による「重篤事故防止」についての事例発表を行いました。



平成24年度シニアワークプログラム地域事業 実 施 状 況

シニアワークプログラム地域事業は、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会が活動拠点の協力、企業・事業主・団体の参画、地域ハローワークとの連携をはかりながら実施する事業です。

平成24年度は、①講習（重点講習と通常講習）、②合同面接会（地域別、講習別）、③職場体験（単独型と技能講習一体型）を実施しました。

① 講習部門

1. 重点講習

講 習 名	実施地区	講 習 日 程	講習 日数	定 員	受講者	修了者	受講 希望者
造園アシスタント①	鳥取会場	6月12日～ 6月22日	9日間	25名	24名	24名	54名
造園アシスタント①	米子会場	6月26日～ 7月 6日	9日間	20名	24名	24名	32名
造園アシスタント②	米子会場	10月 1日～10月12日	9日間	20名	20名	19名	24名
造園アシスタント	倉吉会場	10月23日～11月 2日	9日間	20名	15名	14名	16名
造園アシスタント②	鳥取会場	11月 6日～11月16日	9日間	25名	29名	28名	51名
警備業務アシスタント	鳥取会場	10月 9日～10月19日	9日間	20名	10名	9名	13名
オフィスクリーニング	米子会場	10月17日～10月26日	8日間	20名	15名	14名	16名
訪問介護員2級	米子会場	6月18日～ 7月27日	24日間	20名	19名	18名	25名
訪問介護員2級	鳥取会場	8月20日～ 9月28日	24日間	20名	19名	19名	25名
訪問介護員2級	倉吉会場	9月26日～11月 7日	24日間	20名	14名	11名	16名
ガイドヘルパー講習	米子会場	8月27日～ 9月19日	11日間	20名	13名	11名	17名
ガイドヘルパー講習	鳥取会場	11月20日～12月13日	11日間	20名	19名	19名	21名
重 点 講 習 計				250名	221名	210名	310名

2. 通常講習

講 習 名	実施地区	講 習 日 程	講習 日数	定 員	受講者	修了者	受講希 望者
経理事務補助	米子会場	7月19日～ 7月31日	9日間	20名	19名	19名	29名
経理事務補助	境港会場	9月20日～10月 2日	9日間	20名	15名	14名	18名
経理事務補助	鳥取会場	10月29日～11月 8日	9日間	20名	24名	24名	49名
調理アシスタント	鳥取会場	7月 3日～ 7月13日	9日間	20名	19名	19名	55名
調理アシスタント	米子会場	11月15日～11月28日	9日間	20名	20名	20名	26名
調理アシスタント	倉吉会場	11月29日～12月11日	9日間	20名	22名	21名	30名
室内装飾アシスタント	米子会場	8月21日～ 9月 6日	8日間	20名	17名	17名	20名
室内装飾アシスタント	倉吉会場	9月 4日～ 9月21日	8日間	20名	15名	15名	17名
小 計				160名	151名	149名	244名
合 計				410名	372名	359名	554名

② 合同面接会の実施状況

地域のハローワークとの共催のもと、事業主や団体・企業参画による、一般の高年齢求職者を対象とした地域別合同面接会を計5回、講習修了者を対象とした講習別面接会を計8回実施した。

地域別

地 域	実施日	会 場	参加企業	求人数	求職者数
東部地区①	7月24日(火)	白兎会館	10	51	109
西部地区①	8月 8日(水)	ホテルサンルート米子	9	46	59
西部地区②	11月 1日(木)	弓ヶ浜荘	9	63	80
中部地区	11月12日(月)	倉吉シティホテル	7	81	41
東部地区②	11月27日(火)	鳥取シティホテル	9	80	91

講習別

講習名	実施日	会 場	参加企業	求人数	求職者数
介護2級	7月27日(金)	ふれあいの里	7	23	18
ガイドヘルパー	9月19日(水)	米子市シルバーワークプラザ	4	13	11
介護2級	9月28日(金)	さざんか会館	6	27	19
警備業務	10月19日(金)	さざんか会館	3	18	9
オフィス	10月26日(金)	米子市シルバーワークプラザ	5	15	14
調理	11月28日(水)	米子市シルバーワークプラザ	6	17	19
調理	12月11日(火)	リフレプラザ倉吉	4	7	21
ガイドヘルパー	12月13日(木)	鳥取県立福祉人材研修センター	4	26	19

面接会場の風景



③ 職場体験の実施状況

職場体験の概要

1. 技能講習一体型

技能講習受講者対象の職場体験

2. 単独型職場体験

「スーパー補助従事者体験講習」とし、就職希望者を対象に随時体験してもらいます。

(1) 職場体験受入企業探し

求人企業への訪問・折衝、県内市役所・商工会議所への広報活動、職域団体への協力要請を行った結果、3企業で受け入れていただきました。主な業務内容は以下のとおりです。

- 惣菜の盛り付け・すし製造・粉付け・配送
- 食肉センターの倉庫係
- ナイトマネージャー
- 生鮮・青果・鮮魚・精肉・日配・衣料・レジ係

(2) 職場体験の参加者募集

職場体験のチラシを作成し、受入企業の該当地区のシルバー人材センター、ハローワークおよびミドルシニア仕事プラザ等で掲出していただきました。

また、某市役所よりの要請で生活保護者の参加も受け入れました。

総括

「スーパー補助事業者体験講習」においては、体験中に腰痛が発生したり、イメージしていた仕事と違っていた等の理由で、体験後の就職率はよくありませんでした。

技能講習一体型と職場体験単独型をあわせた修了者数は、目標数100名に対し、126名で達成率は126%となりました。

職場体験風景



シルバー人材センターの紹介

(社)智頭町シルバー人材センター

事務局長 西尾 仁



～シルバー世代で街の活性化を～

智頭町はいわゆる平成の大合併で近隣の市町村が合併する中、単独を選択し今日まで経過しましたが、現在人口は八千人を割り込み、内容的にも高齢化率は三十五%を超え限界集落も幾つか存在するのが現実です。

この様な中で近年では、アイディア満載の街の活性化策が打ち出され、過疎を逆手に取った「疎開保険」の発売、空き家を活用した県外客の「民泊」、豊富な森林を利用した「森林セラピー」や「森の幼稚園」等々全国的にも名を馳せた「ジゲおこし」策が目白押しです。



西河克己記念館（国登録有形文化財）

当（社）智頭町シルバー人材センターは、平成十四年四月に設立され、平成十三年四月より国庫補助センターとして法人化され、更に今年四月より「公益社団法人」の仲間入りとなります。

業績についてはここ数年頭打ちの状態でありますが、公益法人化を契機に一步でも前に進む体制づく

りを目指して行きたい。その実行の為に、行政を始めとする関係機関の協力を得て、「独自事業」の充実を図るとともに、「シルバー派遣事業」の検討・実施を具体化し、就業の場を拡げひいては減少気味の会員の新規加入を促進したい。

ともあれシルバー人材センターの役割は多岐に亘り、その一つとして地域の活性化には我々シルバー世代の頑張りや欠くことのできない存在となり、「シルバー世代の能力と知識・経験を活かし行政の谷間を補完する」を再認識しながら、これをいかに若い世代に引き継ぐかがこれからの課題です。



活力ある町政の一翼を担える様、基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、会員及び役職員が一丸となり、地域社会より信頼されるセンター運営に努めます。

会員の広場

元気でしつこい年寄りだ!!



(社)境港市シルバー
人材センター

澤 昌 繁 夫

六十九歳にしてシルバー生活四年生、会員としてまだまだ青い私です。現在主に福祉関係の宿直員として務め、他にいろいろな手間仕事等に從事しております。そんな私が近頃思うのは「人生下り坂最高!」、どこかで聞いたことのある台詞ですね。今の私は「最高」とはいかなくともほど充実した日々を過ごして居ります。

僅かな年金プラス頑張り過ぎず適度な労働によるシルバーでの収入での生活、経済的にも余裕もなく決して楽な生活ではありませんが、リタイヤする前にはなかった「充実」を感じております。

それは年金生活に入ってからこれからの生き方について徐々に固まつてきた四つの想いに依るものでしょう。四つの生きる目標の中に「鍛える」ということ思っております「年寄りには鍛えろ!」なんて人には冗談でよく云つてます。充実した日々の為にはやはり健康が第一と心得ます。私が殊更に申すことまでもなく、自らの健康の為多くの方が其々に努力をしております。私も若い頃から人一倍運動をやつて今日に至っておりますが二十年程前から水泳をやっております。そしてこの水泳が健康上よい点が多いと云うことを皆様に紹介したいと思ひます。私は今スクールに通う訳ではなくマイペースでや

ております。これを人に勧めても躊躇する向きがありますがそんな難しいことではないことを記したいと思ひます。健康効果として第一に水に体浸すことで寒さに強くなったこと、第二に風邪をひかなくなったこと、三に年齢体力に合わせた目標を持つことにより、年とともに衰える気力を向上させる、四に体力も向上、五に大きな利点で心肺機能を高め、六、循環器系の働きも良くなり、そして七にメタボ解消に、といったことづくめだと揶揄する向きもありますが、真にその通りでいいことづくめなのです。これは私の実体験なので間違ひのないところです。



私は現在週三回程プールに通つて居ります。このペースであればメタボに効果があるようです。時によつてはこのペースが崩れることも応々にしてありますが、それはそれであまり難しく考えずにやつていくことも大事かと考えております。泳ぎ始めた当初は二十五メートル泳ぐと息切れする状態でしたが、次回には二十六メートル、その次には又一メートルと延ばして現在は目標の千五百メートルにいま少しの処までに至つてますがこれは一氣に千五百メー

ルを泳ぐのではなく、五十メートル泳いではちよつと歩き百メートル泳いではちよつと歩きといったペースで、これでいいのです。

これから挑戦する方には初めは一メートルでもよし次回に二メートルとしその次には二メートル五十センチのペースでもよいのです。週二、三回通えば月に十メートル前後、一年続ければ百メートル前後泳げるようになるわけですが、必ずしもそう理屈通りにはいかないと思われる向きもありましようが、これは私が実践してきたことです。水中歩行も良いのですが泳ぐことがより効果的であるということが言えます。ただあまり間を空けると効果はなく疲労のみとなります。要は一、二に年齢体力に相応した目標を持つこと。二つにはその目標に向かって適度に体に負荷をかけること、年寄りでも適度の負荷(ぐれぐれも適度の)をかけることに依り進歩はそれなりに望めます。三つに続けること、これが一番難しいことかもしれないが、しつこくしつこく続けること、継続は力なりです。元気でしつこい年寄りになりましょう!



会員の広場

シルバー人材センター 十年目を迎えて



三朝町シルバー
人材センター
高野 貴美代

早いもので、シルバー人材センターの会員になって十年目を迎えます。
平成二十四年四月八日に設立十周年目の祝賀会が開かれ、その席上、発足当初からの会員十一名が感謝状を頂きました。



三朝町シルバー人材センター10周年記念式

町外で働き定年を迎えた私には町内の方々とあまり顔見知りもなく不安もありましたが、幸い健康であった私は自分の居場所を探す思いで新しい仲間を求めて入会を決心しました。

そして、講師を招いての塗装、障子、襖の張替え、草刈機の安全な使用方法、剪定など多量の講習会に参加し、いろいろな技術を教わりました。最初はなかなか教えられたようにはいかず失敗もありましたが、会員同士意見を交わし、教え合い助け合い、日々の就業の中での疑問や悩みを解決しながらお互いに前に進んできたように思います。



そして十年目に入った今日、地域の皆様との出会い、そして現在五十八名となった会員の皆さんとの

出会い、その仲間に支えられながら、ここまで続けて来られたと実感しております。

襖張り・障子張り、またヘルパーの資格を生かしての入院患者様のお手伝いなど、日々努力しているところですが、会員の年齢も上がりどんな仕事にも肉体的、精神的に厳しい状況となっていく中、健康に十分留意し無理せず楽しい仲間づくりと地域の皆様に少しでも喜んで頂き、受け入れていただけるよう、会員みんなで心を合わせ取り組んでいきたいと思っています。

このことが、これからの三朝町シルバー人材センターの発展に繋がることだと信じています。

小春日に 日のいる窓辺 病む人の 笑みほころびて 我を手招く



三朝温泉 河原風呂

趣味のひとつ

小物作りに仲間作り



(社)湯梨浜町シルバー
人材センター

会員 徳井 三岐子

色々な小物づくりに興味があるものですから、趣味について書いてほしいと言われた時、簡単に引き受けてしまいました。手づくりしたものを着用されていたりしていると直ぐに採寸して作るのが好きです。私のものづくりは、小物が得意です。出来上がるのに時間がかかるのは好みではありません。出来上がるまで自分が作ってから、手芸の好きな人に声をかけて仲間づくりをします。

以前に「ハワイ元氣村」を利用しては、手芸の好きな方が来られてエコクラフトでかごづくりを楽しんだもので



す。町村合併してから知らない顔の方ばかりでも物づくりの楽しさを通じて親しくなっています。冬期間には町公民館羽合分館で手芸クラブを開いています。小物づくりをしてみたい方が自由に来られるようになっています。



最近作

ったものは、エコクラフトの「かご」や毛糸編みの「ネックウォーマー」・畳のみみで「ボシエット」・小さいものでは



「マカロン」等があります。



これから、作りたいと思っているものは、着物をリフォームする「ハッピー&パンツ」です。参加して下さる方に自分で作った作品を持参して皆さんの指導者になって輪を広げたいと思っています。手を動かしながらお料理づくりやおしゃべりしたりして、充実した一日を過ごしています。

講習会に参加して

調理アシスタント

講習に参加して



米子市 木村 美代子

平成24年度シニアワークプログラム地域事業として、11月15日から9日間実施され、男性5名、女性15名が受講しました。



講義のみの日は、米子市シルバーワークプラザにて、調理実習がある日は、日吉津村中央公民館をお借りして行われました。

受講の動機は、56歳で会社を退職し、今後の人生を考えていた時、調理補助員を人生最後の仕事にしたいと思いました。

今回の講習会を通じて、健康に生きていくためには、バランスの良い食生活が大切であること、食中毒など起こさないようにするには食品の温度管理が



5日間の調理実習では、5名ずつ4班にわかれて、鳥取県の郷土料理、「いただき」をはじめ、「黒豆おけじゃ」、「どんどろけ飯」など初めて聞く料理や栄養バランスを考えた20数種類の料理を分担

そんな時、受講者募集の折り込みチラシが目にとまり、栄養・食材・調理等に関する知識・技能を基本から学びたいと思い受講を決意しました。専門の講師の先生方から、「食品材料の扱い方と衛生管理（食中毒）」・「調理概論、調理の基本、調理技術の基本」・「食品材料の特徴と選び方」・「食べ物と栄養」・「生活習慣病予防」についてなど、多項目にわたって受講しました。日常的なことからは難しい専門的なことまで、広範囲にわたりお話を聞くことができ、とても勉強になりました。

重要であり、衛生的で安全な食品を提供する義務と責任を負って調理に関わらなければならないと痛感しました。有意義な講習に参加でき、心から感謝します。今後の人生に役立てたいと思います。お世話になりました講師の先生方をはじめ、関係機関の皆様、講習を企画し、実習期間中お世話をいただきました鳥取県シルバー連合会の皆様に厚くお礼申し上げます。



●鳥取県の最低賃金●

最低賃金は、最低賃金法に基づいて決定されたもので、鳥取県内では、使用者はこれより低い賃金で労働者を使用することはできません。

◎鳥取県内の事業所で働くすべての労働者とその使用者に適用される

→	鳥取県最低賃金 (1時間 653円)	発行年月日 平成24年10月20日
---	-------------------------------	----------------------

◎鳥取県内の特定の産業で働く労働者とその使用者に適用される

→	鳥取県電気機械器具・情報通信機械器具 ・電子回路・部品デバイス製造業最低賃金 (1時間 736円)	発行年月日 平成25年1月17日
---	---	---------------------

→	鳥取県各種商品小売業最低賃金 (1時間 697円)	発行年月日 平成25年2月7日
---	--------------------------------------	--------------------

※詳細については、鳥取労働局賃金室又は最寄りの労働基準監督署にお尋ね下さい。

鳥取労働局賃金室	電話(0857)29-1705
鳥取労働基準監督署	電話(0857)24-3211
米子労働基準監督署	電話(0859)34-2231
倉吉労働基準監督署	電話(0858)22-6274

※シルバー会員の配分金について

シルバー人材センターが受注する仕事の対価については、当該地域における類似の仕事の対価に比べて著しく低くならないように留意し、仕事の見積基準等は、地域の最低賃金や業界の一般的な基準を参考にすることが必要です。

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名 称	代表者	〒	所 在 地	電 話	FAX
(公社)鳥取市シルバー人材センター	西根 弘康	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051
(社)米子広域シルバー人材センター	宇野 治巳	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823
(公社)倉吉市シルバー人材センター	中林 正樹	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101
(社)境港市シルバー人材センター	西村 岩市	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541
(社)南部広域シルバー人材センター	安達 幸男	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330
(社)智頭町シルバー人材センター	小林 寛夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366
(公社)岩美町シルバー人材センター	谷口 幹彦	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512
(社)湯梨浜町シルバー人材センター	足立 春人	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-1	0858-35-4130	0858-35-4130
(社)琴浦町シルバー人材センター	田中 明	689-2352	東伯郡琴浦町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1004
(社)北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227
(公社)大山町シルバー人材センター	近藤 昭夫	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310
(一社)八頭町シルバー人材センター	衣笠 春寿	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3351
江府町シルバー人材センター	山本 信男	689-4413	日野郡江府町洲河崎62	0859-75-3211	0859-75-3211
日南町シルバー人材センター	矢吹 隼之	689-5211	日野郡日南町生山357	0859-82-0223	0859-82-0223
三朝町シルバー人材センター	馬野 忠嗣	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883



(社)鳥取県シルバー人材センター連合会
スタッフ一同

新年明けまして
おめでとう
ございます

表紙のことば

四季折々の美しさを教えてくれる中国地方最高峰「大山」は、西の方向からの姿が富士山に似ていることから伯耆富士とも呼ばれています。他の方角から見ると西側から見える穏やかさは同じ山とは思えないくらい険しい山容を見せます。今回は伯耆町から見た穏やかな「逆さ大山」を表紙にしました。

大山は国立公園として歴史、文化資産的にみても貴重で鳥取県西部の観光エリアの中心となっています。四季折々の表情を変える様子が最大の魅力です。

あとがき

今回も、関係各位のご協力によりまして第二十七号の発行を迎えることができました。まずもって、厚くお礼申し上げます。

平成24年は、原発の安全性の問題から再稼働不可による電力不足、民主党政権の記録的敗退と不安定な年でした。

今年は、明るい話題が日本中に溢れるような一年になればと願っています。

会報 鳥 取 第27号 平成25年1月発行

発 行：社団法人 鳥取県シルバー
人材センター連合会
所在地：〒683-0812
鳥取県米子市角盤町1丁目76
電 話：0859-37-2531
FAX：0859-37-2537